

【腎細胞がん】Renal cell carcinoma

レジメンCD	電子カルテ登録名	レジメン名	1クール	催吐リスク分類	備考
URr009	CCI-779(Temsirolimus)	テムシロリムス単剤療法	1週間	最小	
URr022a	Nivolumab2週法(d1)	Nivolumab単剤療法2週法	2週間	最小	
URr022b	Nivolumab4週法(d1)	Nivolumab単剤療法4週法	4週間	最小	
URr024a	Ipilimumab+Nivolumab(d1)	Ipilimumab+Nivolumab	3週間	最小	
URr024b	(UR024a後 維持療法) Nivolumab2週法	(UR024a後 維持療法) Nivolumab2週法	2週間	最小	
URr024c	(UR024a後 維持療法) Nivolumab4週法	(UR024a後 維持療法) Nivolumab4週法	4週間	最小	
URr029a	Pembrolizumab3週法(+インライタ)	Pembrolizumab3週法[+アキシチニブ併用]	3週間	最小	アキシチニブ連日内服
URr029b	Pembrolizumab6週法(+インライタ)	Pembrolizumab6週法[+アキシチニブ併用]	6週間	最小	アキシチニブ連日内服
URr031	Avelumab[腎](+インライタ)	Avelumab[+アキシチニブ併用]	2週間	最小	アキシチニブ連日内服
URr034a	Pembrolizumab3週法[腎](+レンビマ)	Pembrolizumab3週療法[+レンバチニブ併用]	3週間	最小	
URr034b	Pembrolizumab6週法[腎](+レンビマ)	Pembrolizumab6週療法[+レンバチニブ併用]	6週間	最小	
URr035a	Nivolumab2週法[腎](+カボメテイクス)	Nivolumab2週療法[+カホサンチニブ併用]	2週間	最小	
URr035b	Nivolumab4週法[腎](+カボメテイクス)	Nivolumab4週療法[+カホサンチニブ併用]	4週間	最小	
URr036a	(アジュバント)Pembrolizumab3週法[腎]	(アジュバント)Pembrolizumab3週法	3週間	最小	
URr036b	(アジュバント)Pembrolizumab6週法[腎]	(アジュバント)Pembrolizumab6週法	6週間	最小	

【精巣腫瘍】Testicular tumor

レジメンCD	電子カルテ登録名	レジメン名	1クール	催吐リスク分類	備考
URt005	PEB	PEB	4週間	高度	
URt006	PE	PE	4週間	高度	
URt008	VIP	VIP	3週間	高度	アプレピタントd1～d3内服
URt020	TIP	TIP	3週間	高度	アプレピタントd1～d3内服
URt021	CBDCA(d1)	CBDCA単剤療法	3週間	中等度	

【前立腺がん】Prostate cancer

レジメンCD	電子カルテ登録名	レジメン名	1クール	催吐リスク分類	備考
URp002	DTX(DP療法)	DTX(DP療法)	3週間	軽度	プレドゾン錠10mg連日内服
URp017	CBZ	CBZ[+PSL]療法	3週間	軽度	プレドゾン錠10mg連日内服
URp019	ゾーフィゴ(塩化ラジウム)静注	塩化ラジウム(223Ra)単剤療法	4週間	最小	

【尿路上皮がん】Urothelial cancer

レジメンCD	電子カルテ登録名	レジメン名	1クール	催吐リスク分類	備考
URu001	GDC療法	GDC	3週間	中等度	
URu027	[SH]CDDP(d2)+GEM(d1/8/15)	GEM+CDDP	4週間	高度	
URu030	[SH]GEM(d1,8)+CDDP(d2)	GEM+CDDP	3週間	軽・高	
URu018	GEM(d1/8)+CBDCA(d1)	GEM+ CBDCA	3週間	中等度	
URu018a	(URu018後アジュバント)Nivolumab2週法	(アジュバント)Nivolumab2週療法	2週間	最小	

URu018b	(URu018後アジュバント)Nivolumab4週法	(アジュバント)Nivolumab4週療法	4週間	最小	
URu028	[SH]M-VAC	M-VAC	4週間	高度	
URu028a	(URu028後アジュバント)Nivolumab2週法	(アジュバント)Nivolumab2週療法	2週間	最小	
URu028b	(URu028後アジュバント)Nivolumab4週法	(アジュバント)Nivolumab4週療法	4週間	最小	
URu025	[SH]dd M-VAC	ddM-VAC	2週間	高度	G-CSF併用
URu025a	(URu025後アジュバント)Nivolumab2週法	(アジュバント)Nivolumab2週療法	2週間	最小	
URu025b	(URu025後アジュバント)Nivolumab4週法	(アジュバント)Nivolumab4週療法	4週間	最小	
URu023a	Pembrolizumab3週法	Pembrolizumab3週法	3週間	最小	
URu023b	Pembrolizumab6週法	Pembrolizumab6週法	6週間	最小	
URu016	CDDP(d1-5)+RT	《放射線併用》CDDP	4or6週間	高度	
URu003	ピノルビン膀胱	ピラルピシン膀胱	1D	最小	
URu032	Avelumab[尿路上皮]	Avelumab単剤療法	2週間	最小	
URu033	Enfortumab単剤(d1)	Enfortumab単剤(d1)	4週間	最小	

患者ID

適応疾患名:

医師名

氏名

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

注射処方

Rp **d-1**

① 生食 50 mL } 250mL/hr
 ポラミン注(5mg) 1 A }

② 生食 50 mL } 250mL/hr

③ 生食 250 mL } 250mL/hr
トーリセル mg }
 溶解方法注意!

④ 生食 50 mL } 250mL/hr

	d1	d2~7
トーリセル(テムシロリムス) 25mg/body	↓	休薬
最小度催吐性リスク 内服デカドロンなし		

Weekly投与

過量充填されています。
 専用溶解液で溶解後は10mg/mLです。

※5 μ m以下のインラインフィルター使用する(0.22 μ m使用可)

患者ID

適応疾患名:

医師名

氏名

身長

cm

体表面積

m²

体重

kg

Ccr

mL/min

注射処方

Rp **d-1**
PVCフリーチューブ・0.22 μ m以下のフィルター使用

- ① 生食 50 mL } 100mL/hr
- ② 生食 100 mL } 100mL/hr
 240 mg
- ③ 生食 50 mL } 100mL/hr

	d1	d2~14
オプジーボ (Nivolumab) 240mg/回/body	↓	休薬
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

I : インフュージョンリアクションを認めた場合には、次サイクルより前投薬として解熱鎮痛剤や、抗ヒスタミン剤等の追加を考慮する。

☆前投薬(内服)処方例☆

- ・コカール 300~400mg
- ・レスタミン錠10mg 5錠

II : ①を使用してもインフュージョンリアクションを認めた場合は次サイクルより前投薬の変更あるいは増量を考慮する

泌尿器科 UUr022b Nivolumab4週法(d1)【4W】2h※最小

患者ID _____ 適応疾患名: _____ 医師名 _____

氏名 _____ 身長 _____ cm 体表面積 _____ m²

_____ 体重 _____ kg Ccr _____ mL/min

注射処方

Rp **d-1**
PVCフリーチューブ・0.22 μ m以下のフィルター使用

- ① 生食 50 mL } 100mL/hr
- ② 生食 100 mL } 100mL/hr
 480 mg
- ③ 生食 50 mL } 100mL/hr

	d1	d2~28
オプジーボ (Nivolumab) 480mg/回/body	↓	休薬
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

I : インフュージョンリアクションを認めた場合には、次サイクルより前投薬として解熱鎮痛剤や、抗ヒスタミン剤等の追加を考慮する。

☆前投薬(内服)処方例☆

- コカール 300~400mg
- レスタミン錠10mg 5錠

II : ①を使用してもインフュージョンリアクションを認めた場合は次サイクルより前投薬の変更あるいは増量を考慮する

泌尿器科URr024a Nivolumab+Ipilimumab(d1)【3W】※最小

患者ID _____

適応疾患名：切除不能又は転移性の腎細胞癌 医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

注射処方

Rp	d-1		
① 生食	50	mL	} 100mL/hr
② 生食 オプジーボ	100 240	mL mg	
③ 生食	50	mL	} 100mL/hr
③の生食は流速変更不可！			
④ 生食 ヤーボイ	★ []	mL mg	} 70mL/hr
⑤ 生食	50	mL	

	d1	d2~21
オプジーボ (Nivolumab) 240mg/回/body ヤーボイ (Ipilimumab) 1mg/kg	↓	休薬
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

腎細胞がん
化学療法未治療の症例に使用

4コース目で終了

その後 維持療法としてニボルマブ単剤を
2週毎エンドレスで使用する

中止するときは2剤とも中止する

ヤーボイは30分かけて投与

→30分以上なら問題なし(メーカー確認)

※オプジーボに関して

I : インフュージョンリアクションを認めた場合には、次サイクルより前投薬として解熱鎮痛剤や、抗ヒスタミン剤等の追加を考慮する。

☆前投薬(内服)処方例☆

・コカール 300~400mg

・レスタミン錠10mg 5錠やフェキソフェナジン60mg 1回1錠

II : ①を使用してもインフュージョンリアクションを認めた場合は次サイクルより前投薬の変更あるいは増量を考慮する

泌尿器科 URr024b (UR024a後 維持療法) Nivoluma2週法(d1)【2W】2h※最小

患者ID

適応疾患名: 切除不能又は転移性の腎細胞癌

医師名

氏名

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

注射処方

Rp **d-1**
PVCフリーチューブ・0.22 μ m以下のフィルター使用

① 生食 50 mL } 100mL/hr

② 生食 100 mL } 100mL/hr
240 mg

③ 生食 50 mL } 100mL/hr

	d1	d2~14
オプジーボ (Nivolumab)	↓	休薬
240mg/回/body		
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

I: インフュージョンリアクションを認めた場合には、次サイクルより前投薬として解熱鎮痛剤や、抗ヒスタミン剤等の追加を考慮する。

☆前投薬(内服)処方例☆

- ・コカール 300~400mg
- ・レスタミン錠10mg 5錠

II: ①を使用してもインフュージョンリアクションを認めた場合は次サイクルより前投薬の変更あるいは増量を考慮する

患者ID

適応疾患名: 切除不能又は転移性の腎細胞癌

医師名

氏名

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

注射処方

Rp **d-1**
PVCフリーチューブ・0.22 μ m以下のフィルター使用

① 生食 50 mL } 100mL/hr

② 生食 100 mL } 100mL/hr
480 mg

③ 生食 50 mL } 100mL/hr

	d1	d2~28
オプジーボ (Nivolumab) 480mg/回/body	↓	休薬
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

I : インフュージョンリアクションを認めた場合には、次サイクルより前投薬として解熱鎮痛剤や、抗ヒスタミン剤等の追加を考慮する。

☆前投薬(内服)処方例☆

- ・コカール 300~400mg
- ・レスタミン錠10mg 5錠

II : ①を使用してもインフュージョンリアクションを認めた場合は次サイクルより前投薬の変更あるいは増量を考慮する

泌尿器科 URr029a Pembrolizumab3週法(+Axitinib)(d1)【3W】※最小

患者ID _____ 適応疾患名: 腎細胞がん 医師名 _____
 氏名 _____ 身長 _____ cm 体表面積 _____ m²
 体重 _____ kg Ccr _____ mL/min

注射処方

Rp **d-1**
 インラインフィルター使用

① 生食 50 mL } 100mL/hr

② 生食 50 mL } 100mL/hr
 キイトルーダ **200** mg

③ 生食 50 mL } 100mL/hr

	d1	d2~21
キイトルーダ (Pembrolizumab) 200mg/body/回	↓	休薬
インライタ (アキシチニブ) 5mg × 2回	→→→	→→→
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

調製時注意
 過量充填あり!
 200mg=8mL 計量すること

インライタ錠 mg
 → ~
 → ~

がん化学療法後に増悪した根治切除不能な腎細胞癌
 PD-L1 検査不要

患者ID

適応疾患名:

医師名

氏名

身長

cm

体表面積

m²

体重

kg

Ccr

mL/min

注射処方

Rp **d-1**
インラインフィルター使用

- ① 生食 50 mL } 130mL/hr
- ② 生食 50 mL } 130mL/hr
キイトルーダ **400** mg
- ③ 生食 50 mL } 130mL/hr

	d1	d2~42
キイトルーダ (Pembrolizumab) 400mg/body/回	↓	休薬
インライタ (アキシチニブ) 5mg × 2回 → 6mg にDoseDown		→→→
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

調製時注意

過量充填あり!

400mg = 16mL 計量すること

インライタ錠

 mg
 →

/	~
/	~

がん化学療法後に増悪した根治切除不能な腎細胞癌

PD-L1 検査不要

泌尿器科

URr031 Avelumab(+Axitinib)(d1)【2W】※最小

患者ID _____

適応疾患名: 腎細胞がん

医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

注射処方

Rp **d-1**
インラインフィルター使用

① アセリオ 50 mL } 200mL/hr
ポララミン(5mg) 1 A }

③ 生食 100 mL } 200mL/hr
流速変更不可

④ 生食 250 mL } 250mL/hr
バベンチオ mg }

⑤ 生食 50 mL } 250mL/hr

	d1	d2~14
バベンチオ (Avelumab) 10mg/kg/回	↓	休薬
インライタ (アキシチニブ) 5mg × 2回	→→→	
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

インライタ錠

mg
→

/	~
/	~

根治切除不能又は転移性の腎細胞癌

PD-L1 検査不要

患者ID _____

適応疾患名：根治切除不能又は転移性の腎細胞癌 医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

注射処方

- Rp **d-1**
インラインフィルター使用
- ① 生食 50 mL } 100mL/hr
- ② 生食 50 mL } 100mL/hr
キイトルーダ **200** mg
- ③ 生食 50 mL } 100mL/hr

	d1	d2~21
キイトルーダ (Pembrolizumab) 200mg/body/回	↓	休薬
レンビマ(レンバチニブ) 20mg ×1回	→→→	
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

調製時注意

過量充填あり！

200mg=8mL 計量すること

レンビマカプセル

 mg
 →

/	~
/	~

PD-L1 検査不要

泌尿器科

URr034b Pembrolizumab6週法(+Lenvatinib)(d1)【6W】※最小

患者ID _____

適応疾患名：根治切除不能又は転移性の腎細胞癌 医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm
 体重 _____ kg

体表面積 _____ m²
 Ccr _____ mL/min

注射処方

- Rp **d-1**
 インラインフィルター使用
- ① 生食 50 mL } 130mL/hr
- ② 生食 50 mL } 130mL/hr
 キイトルーダ **400** mg
- ③ 生食 50 mL } 130mL/hr

	d1	d2~42
キイトルーダ (Pembrolizumab) 400mg/body/回	↓	休薬
レンビマ(レンバチニブ) 20mg ×1回	→→→	→→→
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

調製時注意

過量充填あり！

400mg=16mL 計量すること

レンビマカプセル

 mg

→	/	~
→	/	~

PD-L1 検査不要

患者ID _____

適応疾患名：根治切除不能又は転移性の腎細胞癌 医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

注射処方

Rp **d-1**
PVCフリーチューブ・0.22 μ m以下のフィルター使用

- ① 生食 50 mL } 100mL/hr
- ② 生食 100 mL } 100mL/hr
 240 mg
- ③ 生食 50 mL } 100mL/hr

	d1	d2~14
オプジーボ (Nivolumab) 240mg/回/body	↓	休薬
カボメテイクス(カボザンチニブ) 40mg×1回(空腹時)	→→→	→→→
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

I：インフュージョンリアクションを認めた場合には、次サイクルより前投薬として解熱鎮痛剤や、抗ヒスタミン剤等の追加を考慮する。

☆前投薬(内服)処方例☆

- ・コカール 300~400mg
- ・レスタミン錠10mg 5錠

II：①を使用してもインフュージョンリアクションを認めた場合は次サイクルより前投薬の変更あるいは増量を考慮する

カボメテイクス錠

mg

※空腹時内服

→	/ ~
→	/ ~

患者ID _____

適応疾患名：根治切除不能又は転移性の腎細胞癌 医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

注射処方

Rp **d-1**
PVCフリーチューブ・0.22 μ m以下のフィルター使用

- | | | |
|-------|---------------|------------|
| ① 生食 | 50 mL | } 100mL/hr |
| ② 生食 | 100 mL | |
| オプジーボ | 480 mg | } 100mL/hr |
| ③ 生食 | 50 mL | } 100mL/hr |

	d1	d2~28
オプジーボ (Nivolumab) 480mg/回/body	↓	休薬
カボメテイクス(カボザンチニブ) 40mg×1回(空腹時)	→→→	→→→
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

I：インフュージョンリアクションを認めた場合には、次サイクルより前投薬として解熱鎮痛剤や、抗ヒスタミン剤等の追加を考慮する。

☆前投薬(内服)処方例☆

- ・コカール 300~400mg
- ・レスタミン錠10mg 5錠

II：①を使用してもインフュージョンリアクションを認めた場合は次サイクルより前投薬の変更あるいは増量を考慮する

カボメテイクス錠

mg

※空腹時内服

→	/ ~
→	/ ~

患者ID

適応疾患名:腎細胞癌における術後補助療法 医師名

氏名

身長

cm

体表面積

m²

体重

kg

Ccr

mL/min

注射処方

Rp

d-1

インラインフィルター使用

① 生食

50

mL

100mL/hr

② 生食

50

mL

100mL/hr

キイトルーダ

200

mg

③ 生食

50

mL

100mL/hr

	d1	d2~21
キイトルーダ (Pembrolizumab) 200mg/body/回	↓	休薬
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

調製時注意

過量充填あり!

200mg=8mL 計量すること

PD-L1 検査不要

最大12ヵ月で終了とする

患者ID

適応疾患名:腎細胞癌における術後補助療法 医師名

氏名

身長 _____ cm 体表面積 _____ m²
 体重 _____ kg Ccr _____ mL/min

注射処方

- Rp **d-1**
 インラインフィルター使用
- ① 生食 50 mL } 130mL/hr
 - ② 生食 50 mL } 130mL/hr
 キイトルーダ **400** mg
 - ③ 生食 50 mL } 130mL/hr

	d1	d2~42
キイトルーダ (Pembrolizumab) 400mg/body/回	↓	休薬
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

調製時注意

過量充填あり!

400mg=16mL 計量すること

PD-L1 検査不要

最大で12ヵ月で終了とする

泌尿器科URt005 ◆アプレピタント併用◆PEB療法【3W】※高

患者ID

適応疾患名:

医師名

氏名

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

注射処方 ◆アプレピタント併用◆

Rp **d-1、3~5(エトポシド・シスプラチン)**

- | | | | | |
|---|-----------------------------------|-----------------------------|-----------------|------------|
| ① | ソルデム3A | 500 | mL | } 350mL/hr |
| ② | 5%ブドウ糖 | 500 | mL | |
| ③ | ラクテック
ファモチジン(20mg) | 500
1 | mL
A | |
| ④ | ソルデム3A | 500 | mL | |
| ⑤ | グラニセトン1mg+生食100mL
デキサート(6.6mg) | 1
3 | Set
mL | |
| ⑥ | 生食
エトポシド | 500
<input type="text"/> | mL
mg | |

→	/	~
→	/	~

- | | | | | |
|---|-----------------------|-----------------------------|-----------------|------------|
| ⑦ | ソルデム3A
フロセミド(20mg) | 500
1 | mL
A | } 350mL/hr |
| ⑧ | 生食
シスプラチン | 500
<input type="text"/> | mL
mg | |

→	/	~
→	/	~

- | | | | | |
|---|---------------------------------------|---------------|--------------|------------|
| ⑨ | 生食
フロセミド(20mg) | 500
1 | mL
A | } 350mL/hr |
| ⑩ | ソルデム3A
フロセミド(20mg)
ファモチジン(20mg) | 500
1
1 | mL
A
A | |
| ⑪ | ラクテック | 500 | mL | |

	d1	d2	d3-5	d6-8	d9
ブレオ(BLM) 30mg/Body		↓			↓
エトポシド(VP-16) 100mg/m ²	↓	↓	↓	休	
シスプラチン(CDDP) 20mg/m ²	↓	↓	↓	薬	

	d10-15	d16	d17-21
ブレオ(BLM) 30mg/Body		↓	
エトポシド(VP-16) 100mg/m ²	休		休
シスプラチン(CDDP) 20mg/m ²	薬		薬
Day1~5高度催吐性リスク(デキサート注使用) Day9軽度催吐性リスク			

2枚目あり

泌尿器科URt005 ◆アプレピタント併用◆PEB療法【3W】※高

1枚目あり

Rp	d-2(ブレオ・エトポシド・シスプラチン)		
①	ソルデム3A	500	mL
②	5%ブドウ糖	500	mL
③	ラクテック	500	mL
	ファモチジン(20mg)	1	A
④	グラニセロン1mg+生食100mL	1	Set
	デキサート(6.6mg)	3	mL
⑤	生食	500	mL
	ブレオ	<input type="text"/>	mg
		→	<input type="text"/>
		→	<input type="text"/>
⑥	生食	500	mL
	エトポシド	<input type="text"/>	mg
		→	<input type="text"/>
		→	<input type="text"/>
⑦	ソルデム3A	500	mL
	フロセミド(20mg)	1	A
⑧	生食	500	mL
	シスプラチン	<input type="text"/>	mg
		→	<input type="text"/>
		→	<input type="text"/>
⑨	生食	500	mL
	フロセミド(20mg)	1	A
⑩	ソルデム3A	500	mL
	フロセミド(20mg)	1	A
	ファモチジン(20mg)	1	A
⑪	ラクテック	500	mL

d3~5は1枚目

Rp	d-9、16(ブレオ単剤)		
①	5%ブドウ糖	500	mL
②	ラクテック	500	mL
	ファモチジン(20mg)	1	A
③	生食	100	mL
	デキサート(6.6mg)	1	mL
④	生食	500	mL
	ブレオ	<input type="text"/>	mg
		→	<input type="text"/>
		→	<input type="text"/>
⑤	ソルデム3A	500	mL
	フロセミド(20mg)	1	A
	ファモチジン(20mg)	1	A
⑥	ラクテック	500	mL

泌尿器科 URt006 ◆アプレピタント併用◆PE療法【3W】※高

患者ID

適応疾患名:

医師名

氏名

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

注射処方 ◆アプレピタント併用◆

d-1~5(エトポシド・シスプラチン)

- | | | | | |
|---|---------------------|-----|-----------|------------|
| ① | ソルデム3A | 500 | mL | } 350mL/hr |
| ② | 5%ブドウ糖 | 500 | mL | |
| ③ | ラクテック | 500 | mL | |
| | ファモチジン(20mg) | 1 | A | |
| ④ | ソルデム3A | 500 | mL | |
| ⑤ | グラニセロン1mg+生食100mL | 1 | Set | |
| | デキサート(6.6mg) | 3 | mL | |
| ⑥ | 生食
エトポシド | 500 | mL | |
| | | | mg | |
| | | | → / ~ | |
| | | | → / ~ | |
| ⑦ | ソルデム3A | 500 | mL | } 350mL/hr |
| | フロセミド(20mg) | 1 | A | |
| ⑧ | 生食
シスプラチン | 500 | mL | } 350mL/hr |
| | | | mg | |
| | | | → / ~ | |
| | | | → / ~ | |
| ⑨ | 生食
フロセミド(20mg) | 500 | mL | } 350mL/hr |
| | | 1 | A | |
| ⑩ | ソルデム3A | 500 | mL | |
| | フロセミド(20mg) | 1 | A | |
| | ファモチジン(20mg) | 1 | A | |
| ⑪ | ラクテック | 500 | mL | |

	d1~5	d6~d21
エトポシド(VP-16) 100mg/m ²	↓	休
シスプラチン(CDDP) 20mg/m ²	↓	薬
高度催吐性リスク		
デキサート注使用		
内服デカドロンなし		

患者ID

適応疾患名:

医師名

氏名

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

注射処方 ◆アプレピタント併用◆

d-1~5(イホマイト・エトポシド・シスプラチン)

- ① ソルデム1 500 mL
メイロン 20 mL
ファモチジン(20mg) 1 A
② グラニセトロン1mg+生食100mL 1 Set
デキサート 3 mL
③ ソルデム3A 500 mL
メイロン 20 mL
フロゼミド(20mg) 1 A
④ 生食 500 mL
イホマイト mg
→ / ~
→ / ~
- ⑤ 生食 50 mL
ウロミテキサン mg
→ / ~
→ / ~
- ⑥ ソルデム3A 500 mL
メイロン 20 mL
フロゼミド(20mg) 1 A
⑦ 生食 500 mL
エトポシド mg
→ / ~
→ / ~
- ⑧ 生食 250 mL
シスプラチン mg
→ / ~
→ / ~
- ⑨ 生食 50 mL
ウロミテキサン mg
→ / ~
→ / ~
- ⑩ ソルデム3A 500 mL
フロゼミド(20mg) 1 A
⑪ ラクテック 500 mL
ファモチジン(20mg) 1 A
⑫ ラクテック 500 mL
⑬ 生食 50 mL
ウロミテキサン mg
→ / ~
→ / ~

	d1~5	d6~d21
イホマイト(IFM) 1200mg/m ²	↓	休 薬
ウロミテキサン(メスナ) 240mg/m ² ×3回	↓	
エトポシド(VP-16) 75mg/m ²	↓	
シスプラチン(CDDP) 20mg/m ²	↓	
高度催吐性リスク デキサート注 使用 内服デカドロンなし		

※⑬終了後へパロック可

泌尿器科 URt020 ◆アプレピタント併用◆TIP療法【3W】※高

患者ID

適応疾患名:

医師名

氏名

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

注射処方

Rp **d-1 (パクリタキセル)**
PVCフリーチューブ・0.22 μ m以下のフィルター使用

- | | | | |
|----------------|----------------------|------------------------|------------|
| ① 生食 | 100 | mL | } 175mL/hr |
| デキサート(6.6mg) | 5 | mL | |
| ファモチジン(20mg) | 1 | A | |
| ポララミン(5mg) | 1 | A | |
| ② 生食 | 100 | mL | } 175mL/hr |
| ③ 5%ブドウ糖 | 500 | mL | |
| パクリタキセル | <input type="text"/> | mg | } 175mL/hr |
| | | → <input type="text"/> | |
| ④ 生食 | 50 | mL | } 175mL/hr |

	d1	d2~d6	d7~d21
パクリタキセル(PTX) 210mg/m ²			
イホマイド(IFM) 1200mg/m ²		↓	休 薬
シスプラチン(CDDP) 20mg/m ²	↓	↓	
ウロミテキサン(メスナ) 240mg/m ² ×3回		↓	
Day1軽度、Day2~6高度催吐性リスク デキサート注使用			

◆アプレピタント併用◆d-2~6(イホマイド・シスプラチン)

- | | | | |
|---------------------------------------|----------------------|------------------------|------------|
| ① ソルデム1 | 500 | mL | } 350mL/hr |
| メイロン20mL+ファモチジン(20mg) | 1A | | |
| ② グラニセトロン1mg+生食100mL | 1 | Set | |
| デキサート | 3 | mL | |
| ③ ソルデム3A | 500 | mL | } 350mL/hr |
| メイロン 20mL + フロセミド [®] (20mg) | 1A | | |
| ④ 生食 | 500 | mL | } 100mL/hr |
| *イホマイド | <input type="text"/> | mg | |
| | | → <input type="text"/> | |
| ⑤ 生食 | 50 | mL | } 100mL/hr |
| ウロミテキサン | <input type="text"/> | mg | |
| | | → <input type="text"/> | |
| ⑥ ソルデム3A | 500 | mL | } 350mL/hr |
| メイロン 20mL+フロセミド [®] (20mg) | 1A | | |
| ⑦ 生食 | 250 | mL | } 350mL/hr |
| シスプラチン | <input type="text"/> | mg | |
| | | → <input type="text"/> | |
| ⑧ 生食 | 50 | mL | } 100mL/hr |
| ⑨ 生食 | 50 | mL | |
| ウロミテキサン | <input type="text"/> | mg | } 100mL/hr |
| | | → <input type="text"/> | |
| ⑩ ソルデム3A | 500 | mL | } 350mL/hr |
| フロセミド [®] (20mg) | 1 | A | |
| ⑪ ラクテック | 500 | mL | } 350mL/hr |
| ファモチジン(20mg) | 1 | A | |
| ⑫ ラクテック | 500 | mL | } 100mL/hr |
| ⑬ 生食 | 50 | mL | |
| ウロミテキサン | <input type="text"/> | mg | } 100mL/hr |
| | | → <input type="text"/> | |

※⑬終了後へパロック可

患者ID _____

適応疾患名: _____

医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

注射処方

Rp **d-1(カルボプラチン)**

	d1	d2-21
カルボプラチン(CBDCA) AUC7	↓	休薬
中等度催吐リスク(高度相当);Day2~4デカロン 8mg 分1 朝食後内服推奨		

① グラニセトロン1mg+生食100mL 1 Set }
 デキサート(6.6mg) 3 mL } 250mL/hr
 プロイメンド 1 瓶 }

② 生食 250 mL }
カルボプラチン **mg** } 250mL/hr

*アジュバント 1~2回実施

→

/ ~
/ ~

③ 生食 50 mL } 250mL/hr

泌尿器科

URp002 DTX (DP療法)(d1)【3W】※軽

患者ID _____

適応疾患名: _____

医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

注射処方

- Rp **d-1**
- ① 生食 100 mL } 250mL/hr
 デキサート(6.6mg) 1 mL }
- ② 5%ブドウ糖 250 mL } 250mL/hr
ドセタキセル mg }
- / ~
 → / ~
- ③ 生食 50 mL } 250mL/hr

	d1	d8	d15~22
ドセタキセル(DTX) 70~75mg/m ²	↓	休	休
プレドニゾロン(PSL) 10mg/day p.o.	→	→	→
軽度催吐性リスク			
内服デカドロンなし			

※プレドニゾロン錠(5mg) 10mg 分2を
d-1からd-21に内服投与

患者ID _____	適応疾患名: _____	医師名 _____
氏名 _____	身長 _____ cm	体表面積 _____ m ²
	体重 _____ kg	Ccr _____ mL/min

★溶解液にアルコール含有★

注射処方

Rp **d-1**

① 生食	100	mL	} 250mL/hr
デキサート(6.6mg)	2	mL	
ファモチジン(20mg)	1	A	
ポララミン(5mg)	1	A	

	d1	d8	d15	d21
ジェブタナ(CBZ) 25mg/m ²	↓	休	休	休
プレドニゾロン(PSL) 10mg/day p.o.	→	→	→	→
軽度催吐性リスク 内服デカドロンなし				

※過敏症に対する予防投与

※プレドニゾロン錠(5mg) 10mg 分2(朝昼)を
d-1からd-21に内服投与

② 生食 100 mL } 250mL/hr

③ 生食 250 mL } 250mL/hr
 ※ **ジェブタナ** mg

添付溶解液で溶解後は10mg/mLです → / ~
 添付溶解液はアルコール含有 → / ~

④ 生食 50 mL } 250mL/hr

※ジェブタナの量によって生食の量が変わります。

25mg未満 生食100mL

25mg以上65mg未満 生食250mL

65mg以上 生食500mL

▼ジーラスタ投与推奨

ジェブタナ投与後24時間以降～72時間以内

泌尿器科URp019 ゴーフイゴ(塩化ラジウム) 静注【4W】※最小

患者ID _____ 適応疾患名: 前立腺がん 医師名 _____
 氏名 _____ 身長 _____ cm 体表面積 _____ m²
 体重 _____ kg Ccr _____ mL/min

注射処方

Rp _____ d-1

	d1	d2~28
ゴーフイゴ(塩化ラジウム) 0.055mBq/kg(55kBq/kg)	↓	休薬
最小度催吐性リスク 内服デカドロンなし		

① ゴーフイゴ mBq } 緩徐に

② 生食 20 mL } 緩徐に ※最大6回
 (フラッシュ用)

泌尿器科

URu027 [SH]GEM(d1,8,15)+CDDP(d2)【4W】※軽・高

患者ID

適応疾患名:

医師名

氏名 _____ 身長 _____ cm 体表面積 _____ m²
 _____ 体重 _____ kg Ccr _____ mL/min

注射処方

- Rp **d-1、8、15(ゲムシタビン単剤)**
- ① 生食 100 mL }
 デキサート(6.6mg) 1 mL } 200ml/hr
 - ② 生食 100 mL }
ゲムシタビン mg }
 → / ~
 → / ~
 - ③ 生食 50 mL } 200ml/hr

	d1	d2	d8	d15	d22
ゲムシタビン(GEM)	↓		↓	↓	休薬
シスプラチン(CDDP)		↓			
Day1、8、15 GEM軽度催吐性リスク					
Day2 高度催吐性リスク					
Day3-5 アプロロノ錠8mg 分1 朝長夜 3日分					

- Rp **d-2(シスプラチン)**
- Day2③~⑥の間に経口補水液を1000mL摂取推奨
- ① 生食 100 mL }
 アロキシ 1 瓶 } 200mL/hr
 プロイメンド 1 瓶 }
 デキサート(6.6mg) 3 mL }
 - ② 生食 50 mL } 全開
 - ③ ソルデム3A 500 mL }
 塩化ナトリウム10%(20mL) 1 A } 500mL/hr
 硫酸Mg補正液(20mL) 1 A }
 - ④ 15%マンニトール 500 mL } 500mL/hr
 - ⑤ 生食 250 mL }
シスプラチン mg } 360mL/hr
 130mgを超える場合は
 生食500mLへ変更
 → / ~
 → / ~
 - ⑥ ソルデム3A 500 mL }
 塩化ナトリウム10%(20mL) 1 A } 500mL/hr

泌尿器科

URu030 [SH]GEM(d1,8)+CDDP(d2)**【3W】※軽・高**

患者ID

適応疾患名:

医師名

氏名

身長 _____ cm

体表 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

注射処方

Rp **d-1、8(ゲムシタビン)**

①	100	mL	} 200ml/hr
デキサート(6.6mg)	1	mL	
② 生食	100	mL	
ゲムシタビン	<input type="text"/>	mg	
			→ / ~
			→ / ~

	d1	d2	d8	d15
ゲムシタビン(GEM) 1000mg/m ²	↓		↓	休 薬
シスプラチン(CDDP) 70mg/m ²		↓		
Day1、8GEM軽度催吐性リスク				
Day2 高度催吐性リスクDay3-5 デカドロン錠8mg分1 朝食後 3日分				

★GEM血管痛時は生食⇒5%TZに変更可

③ 生食	50	mL	} 200ml/hr
------	----	----	------------

Rp **d-2(シスプラチン)**

Day2③～⑥の間に経口補水液を1000mL摂取推奨

① 生食	100	mL	} 200mL/hr
アロキシ	1	瓶	
プロイメンド	1	瓶	
デキサート(6.6mg)	3	mL	
② 生食	50	mL	} 全開
③ ソルデム3A	500	mL	} 500mL/hr
塩化ナトリウム10%(20mL)	1	A	
硫酸Mg補正液(20mL)	1	A	
④ 15%マンニトール	500	mL	} 500mL/hr
⑤ 生食	250	mL	} 360mL/hr
シスプラチン	<input type="text"/>	mg	
130mgを超える場合は 生食500mLへ変更			→ / ~
			→ / ~

⑥ ソルデム3A	500	mL	} 500mL/hr
塩化ナトリウム10%(20mL)	1	A	

CDDPの減量基準

Ccr30以下	中止
30～45	50%dose
45～60	75%dose
60以上	Fulldose

泌尿器科 URu018 GEM(d1,8)+CBDCA(d1)【3W】※中・低

患者ID

適応疾患名:

医師名

氏名

身長 _____ cm
体重 _____ kg

体表面積 _____ m²
Ccr _____ mL/min

注射処方

Rp **d-1(ゲムシタビン・カルボプラチン)**

① グラニセトロン1mg+生食100mL 1 Set }
デキサート(6.6mg) 3 mL } 200mL/hr
プロイメンド 1 瓶 }

② 生食 50 mL } 全開

③ 生食 100 mL }
ゲムシタビン **mg** } 200mL/hr

→
→

④ 5%ブドウ糖 250 mL }
カルボプラチン **mg** } 200mL/hr

→
→

⑤ 生食 50 mL } 200mL/hr

Rp **d-8(ゲムシタビン単剤)**

① 生食 100 mL }
デキサート(6.6mg) 1 mL } 200mL/hr

② 生食 100 mL }
ゲムシタビン **mg** } 200mL/hr

→
→

③ 生食 50 mL } 200mL/hr

	d1	d8	d15
ゲムシタビン(GEM) 1000mg/m ²	↓	↓	休薬
カルボプラチン(CBDCA) AUC4.5	↓		
中等度催吐リスク(高度相当);Day2~4デカロン 8mg 分1 朝食後内服推奨 軽度催吐性リスク(d8)			

患者ID _____	適応疾患名：筋層浸潤性尿路上皮癌 _____	医師名 _____
氏名 _____	身長 _____ cm	体表面積 _____ m ²
	体重 _____ kg	Ccr _____ mL/min

※術前化学療法にプラチナ製剤を使用した患者

注射処方

- Rp **d-1**
PVCフリーチューブ・0.22 μ m以下のフィルター使用
- ① 生食 50 mL } 100mL/hr
- ② 生食 100 mL } 100mL/hr
480 mg
- ③ 生食 50 mL } 100mL/hr

	d1	d2~28
オプジーボ (Nivolumab) 480mg/回/body	↓	休薬
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

I：インフュージョンリアクションを認めた場合には、次サイクルより前投薬として解熱鎮痛剤や、抗ヒスタミン剤等の追加を考慮する。

☆前投薬(内服)処方例☆

- ・コカール 300~400mg
- ・レスタミン錠10mg 5錠

II：①を使用してもインフュージョンリアクションを認めた場合は次サイクルより前投薬の変更あるいは増量を考慮する

最大で投与期間は12ヵ月まで

患者ID	適応疾患名：筋層浸潤性尿路上皮癌		医師名
氏名	身長 _____ cm	体表面積 _____ m ²	
	体重 _____ kg	Ccr _____ mL/min	

※術前化学療法にプラチナ製剤を使用した患者

注射処方

- Rp **d-1**
PVCフリーチューブ・0.22 μ m以下のフィルター使用
- ① 生食 50 mL } 100mL/hr
- ② 生食 100 mL } 100mL/hr
240 mg
- ③ 生食 50 mL } 100mL/hr

	d1	d2~14
オプジーボ (Nivolumab) 240mg/回/body	↓	休薬
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

I：インフュージョンリアクションを認めた場合には、次サイクルより前投薬として解熱鎮痛剤や、抗ヒスタミン剤等の追加を考慮する。

☆前投薬(内服)処方例☆

- ・コカール 300~400mg
- ・レスタミン錠10mg 5錠

II：①を使用してもインフュージョンリアクションを認めた場合は次サイクルより前投薬の変更あるいは増量を考慮する

最大で投与期間は12ヵ月間まで

患者ID

適応疾患名:

医師名

氏名 _____ 身長 _____ cm 体表面積 _____ m²
 _____ 体重 _____ kg Ccr _____ mL/min

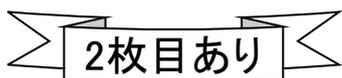
注射処方

- Rp **d-1(メトトレキサート)**
- ① 生食 50 mL } 200ml/hr
 - ② 生食 100 mL } 200ml/hr
メトトレキサート mg
 → ~
 → ~
 - ③ 生食 50 mL } 200ml/hr

- Rp **d-2(エクザール・ドキソルビシン・シスプラチン)**
- Day2⑤~⑧の間に経口補水液を1000mL摂取推奨

- ① 生食 100 mL } 200mL/hr
 アロキシ 1 瓶
 プロイメンド 1 瓶
 デキサート(6.6mg) 3 mL
- ② 生食 50 mL } 全開
- ③ 生食 100 mL } 200ml/hr
エクザール mg
 → ~
 → ~
- ④ 生食 100 mL } 200ml/hr
ドキソルビシン mg
 → ~
 → ~
- ⑤ ソルデム3A 500 mL } 500mL/hr
 塩化ナトリウム10%(20mL) 1 A
 硫酸Mg補正液(20mL) 1 A
- ⑥ マンニットT注15% 500 mL } 500mL/hr
- ⑦ 生食 250 mL } 360mL/hr
シスプラチン mg
 130mgを超える場合は
 生食500mLへ変更
 → ~
 → ~
- ⑧ ソルデム3A 500 mL } 500mL/hr
 塩化ナトリウム10%(20mL) 1 A

	d1	d2	d8	d15	d22
メトトレキサート(MTX) 30mg/m ²	↓			↓	↓
エクザール(VLB) 3mg/m ²		↓	休 薬	↓	↓
ドキソルビシン(DXR) 30mg/m ²		↓			
シスプラチン(CDDP) 70mg/m ²		↓			
Day1、15、22 最小度催吐性リスク					
Day2 高度催吐性リスク					
d3 -5デカドロン錠8mg 分1 朝食後 3日分					



※G-CSF併用する場合①か②のどちらか

- ① ジーラスタ d3~d4のうちどちらか1回
- ② フィルグラスチム d4-10(検査確認しながら最大7日)

1枚目あり

- Rp d-15、22(メトレキサート,エクザール)
- ① 生食 100 mL } 200ml/hr
- ② 生食 100 mL } 200ml/hr
メトレキサート mg
 → / ~
 → / ~
- ③ 生食 100 mL } 200ml/hr
エクザール mg
 → / ~
 → / ~
- ④ 生食 50 mL } 200ml/hr

	d1	d2	d8	d15	d22
メトレキサート(MTX) 30mg/m ²	↓			↓	↓
エクザール(VLB) 3mg/m ²		↓			
トキソルビシン(DXR) 30mg/m ²		↓			
シスプラチン(CDDP) 70mg/m ²		↓			
Day1、15、22 最小度催吐性リスク					
Day2 高度催吐性リスク					
d3 -5デカドロン錠8mg 分1 朝食後 3日分					

患者ID _____	適応疾患名：筋層浸潤性尿路上皮癌 _____	医師名 _____
氏名 _____	身長 _____ cm	体表面積 _____ m ²
	体重 _____ kg	Ccr _____ mL/min

※術前化学療法にプラチナ製剤を使用した患者

注射処方

- Rp **d-1**
PVCフリーチューブ・0.22 μ m以下のフィルター使用
- | | | |
|-------|---------------|------------|
| ① 生食 | 50 mL | } 100mL/hr |
| ② 生食 | 100 mL | |
| オプジーボ | 480 mg | } 100mL/hr |
| ③ 生食 | 50 mL | |

	d1	d2~28
オプジーボ (Nivolumab) 480mg/回/body	↓	休薬
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

I：インフュージョンリアクションを認めた場合には、次サイクルより前投薬として解熱鎮痛剤や、抗ヒスタミン剤等の追加を考慮する。

☆前投薬(内服)処方例☆

- ・コカール 300~400mg
- ・レスタミン錠10mg 5錠

II：①を使用してもインフュージョンリアクションを認めた場合は次サイクルより前投薬の変更あるいは増量を考慮する

最大で投与期間は12ヵ月まで

患者ID	適応疾患名：筋層浸潤性尿路上皮癌		医師名
氏名	身長 _____ cm	体表面積 _____ m ²	
	体重 _____ kg	Ccr _____ mL/min	

※術前化学療法にプラチナ製剤を使用した患者

注射処方

- Rp **d-1**
PVCフリーチューブ・0.22 μ m以下のフィルター使用
- ① 生食 50 mL } 100mL/hr
- ② 生食 100 mL } 100mL/hr
240 mg
- ③ 生食 50 mL } 100mL/hr

	d1	d2~14
オプジーボ (Nivolumab) 240mg/回/body	↓	休薬
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

I：インフュージョンリアクションを認めた場合には、次サイクルより前投薬として解熱鎮痛剤や、抗ヒスタミン剤等の追加を考慮する。

☆前投薬(内服)処方例☆

- ・コカール 300~400mg
- ・レスタミン錠10mg 5錠

II：①を使用してもインフュージョンリアクションを認めた場合は次サイクルより前投薬の変更あるいは増量を考慮する

最大で投与期間は12ヵ月間まで

患者ID _____ 適応疾患名: _____ 医師名 _____
 氏名 _____ 身長 _____ cm 体表面積 _____ m²
 体重 _____ kg Ccr _____ mL/min

注射処方

- Rp **d-1(メトレキセート)**
- ① 生食 50 mL } 200mL/hr
 - ② 生食 100 mL } 200mL/hr
メトレキセート mg
 → / ~
 → / ~
 - ③ 生食 50 mL } 200mL/hr

- Rp **d-2(エクザール・ドキソルビシン・シスプラチン)**
Day2⑤~⑧の間に経口補水液を1000mL摂取推奨
- ① 生食 100 mL }
 アロキシ 1 瓶 } 200mL/hr
 プロイメンド 1 瓶 }
 デキサート(6.6mg) 3 mL }
 - ② 生食 50 mL } 全開
 - ③ 生食 100 mL } 200mL/hr
エクザール mg
 → / ~
 → / ~
 - ④ 生食 100 mL } 200mL/hr
ドキソルビシン mg
 → / ~
 → / ~
 - ⑤ ソルデム3A 500 mL }
 塩化ナトリウム10%(20mL) 1 A } 500mL/hr
 硫酸Mg補正液(20mL) 1 A }
 - ⑥ 15%マンニトール 500 mL } 500mL/hr
 - ⑦ 生食 250 mL } 360mL/hr
シスプラチン mg
 130mgを超える場合は
 生食500mLへ変更
 → / ~
 → / ~
 - ⑧ ソルデム3A 500 mL }
 塩化ナトリウム10%(20mL) 1 A } 500mL/hr

	d1	d2	d3~14
メトレキセート(MTX) 30mg/m ²	↓		
エクザール(VLB) 3mg/m ²		↓	休薬
ドキソルビシン(DXR) 30mg/m ²		↓	
シスプラチン(CDDP) 70mg/m ²		↓	
Day1 最小度催吐性リスク			
Day2 高度催吐性リスク			
d3 -5デカドロン内服あり デカドロン錠8mg 分1 朝食後 3日分			

※G-CSF併用

- ① ジーラスタ d4かd5
- ② フィルグラスチム d4-10(検査確認しながら最大7日)
のどちらか

患者ID _____

適応疾患名：筋層浸潤性尿路上皮癌

医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

※術前化学療法にプラチナ製剤を使用した患者

注射処方

Rp **d-1**
PVCフリーチューブ・0.22 μ m以下のフィルター使用

① 生食 50 mL } 100mL/hr

② 生食 100 mL } 100mL/hr
240 mg

③ 生食 50 mL } 100mL/hr

	d1	d2~14
オプジーボ (Nivolumab) 240mg/回/body	↓	休薬
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

I：インフュージョンリアクションを認めた場合には、次サイクルより前投薬として解熱鎮痛剤や、抗ヒスタミン剤等の追加を考慮する。

☆前投薬(内服)処方例☆

- ・コカール 300~400mg
- ・レスタミン錠10mg 5錠

II：①を使用してもインフュージョンリアクションを認めた場合は次サイクルより前投薬の変更あるいは増量を考慮する

最大で投与期間は12ヵ月間まで

患者ID _____	適応疾患名：筋層浸潤性尿路上皮癌 _____	医師名 _____
氏名 _____	身長 _____ cm	体表面積 _____ m ²
	体重 _____ kg	Ccr _____ mL/min

※術前化学療法にプラチナ製剤を使用した患者

注射処方

- Rp **d-1**
PVCフリーチューブ・0.22 μ m以下のフィルター使用
- | | | |
|-------|---------------|------------|
| ① 生食 | 50 mL | } 100mL/hr |
| ② 生食 | 100 mL | |
| オプジーボ | 480 mg | } 100mL/hr |
| ③ 生食 | 50 mL | |

	d1	d2~28
オプジーボ (Nivolumab) 480mg/回/body	↓	休薬
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

I：インフュージョンリアクションを認めた場合には、次サイクルより前投薬として解熱鎮痛剤や、抗ヒスタミン剤等の追加を考慮する。

☆前投薬(内服)処方例☆

- ・コカール 300~400mg
- ・レスタミン錠10mg 5錠

II：①を使用してもインフュージョンリアクションを認めた場合は次サイクルより前投薬の変更あるいは増量を考慮する

最大で投与期間は12ヵ月まで

泌尿器科 URu023a Pembrolizumab3週法(d1)【3W】※最小

患者ID _____

適応疾患名: 尿路上皮癌

医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

注射処方

Rp **d-1**

インラインフィルター使用

① 生食 50 mL } 100mL/hr

② 生食 50 mL } 100mL/hr
 キイトルーダ mg

③ 生食 50 mL } 100mL/hr

	d1	d2~21
キイトルーダ (Pembrolizumab) 200mg/body/回	↓	休薬
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

調製時注意

過量充填あり!

200mg=8mL 計量すること

がん化学療法後に増悪した根治切除不能な尿路上皮癌

PD-L1 検査不要

患者ID _____ 適応疾患名: 尿路上皮癌 医師名 _____
 氏名 _____ 身長 _____ cm 体表面積 _____ m²
 体重 _____ kg Ccr _____ mL/min

注射処方

Rp **d-1**
 インラインフィルター使用

① 生食 50 mL } 130mL/hr

② 生食 50 mL } 130mL/hr
 キイトルーダ **400 mg**

③ 生食 50 mL } 130mL/hr

	d1	d2~42
キイトルーダ (Pembrolizumab) 400mg/body/回	↓	休薬
最小度催吐性リスク デカドロン内服なし		

調製時注意

過量充填あり!

400mg=16mL 計量すること

がん化学療法後に増悪した根治切除不能な尿路上皮癌
 PD-L1 検査不要

患者ID	適応疾患名:		医師名	
氏名	身長	cm	体表面積	m ²
	体重	kg	Ccr	mL/min

注射処方 ◆アプレピタント併用◆

Rp **d1-7 (1クール最大5回)**

- ① ソルデム3A 500 mL } 360mL/hr
- ② ソルデム3A 500 mL }
- ③ グラセトン1mg+生食100mL 1 Set } 200mL/hr
- デキサート(6.6mg) 3 mL }
- ④ 生食 250 mL }
- シスプラチン mg }
-
-
- ⑤ ソルデム3A 500 mL } 360mL/hr
- フロセミド(20mg) 1/2 A }
- ⑥ ポタコールR 500 mL }

	d1-7	d8-28
シスプラチン (CDDP) 20 mg/m ²	↓ 最大5回	休 薬
放射線	2Gy×20回	
高度催吐性リスク イメンド併用 d1-5 デキサート注使用		

十分な水分摂取を促すこと！足りない場合は輸液追加すること。

Radiation 2Gy×20回(d1-28の間に)

患者ID _____

適応疾患名: _____

医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

注射処方

Rp 手術後24時間以内に1回

最小度催吐性リスク

① 注射用水 20 mL } 膀胱内注入
ピノルビン 30 mg }

オペ室で調製
レジメン管理のみ

患者ID _____

適応疾患名: 尿路上皮癌

医師名 _____

氏名 _____

身長 _____ cm

体表面積 _____ m²

体重 _____ kg

Ccr _____ mL/min

※癌化学療法後に増悪した根治切除不能な尿路上皮癌
(プラチナ製剤及びPD-1/PD-L1阻害薬使用した患者限定)

注射処方

Rp **d-1,8,15**

① 生食 50 mL } 100mL/hr

② 生食 50 mL }
注射用水(溶解用) ★ mL } 100mL/hr
パドセブ mg

★パドセブ溶解法★

1パイアルにつき3.3mLの注射用水
溶解後は10mg/mL

→
→

	d1	d8	d15	d16-28
パドセブ 1.25mg/kg	↓	↓	↓	休薬
最小度催吐性リスク 内服デカドロンなし				

ただし1回量として125mgを超えない事

中止基準;別表

③ 生食 50 mL } 100mL/hr

所要時間:約1~2時間

減量方法

1.25mg/kg⇒1.0mg/kg⇒0.75mg/kg⇒0.5mg/kg